

第31回区民車座集会意見交換内容（幸区）

- 1 開催日時 平成29年12月3日（日） 午後2時15分から午後4時10分まで
- 2 場 所 日吉合同庁舎2階 会議室
- 3 参加者等 参加者28名、傍聴者約17名 合計45名

<開会>

司会：それでは、定刻となりましたので、ただいまから第31回区民車座集会を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、幸区役所企画課の中村と申します。よろしくお願いいたします。

本日の車座集会は、夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）の新たな魅力と賑わいの創出に向けてをテーマに、地域で活動する団体や近隣住民の皆さんでワークショップを行い、ワークショップで話し合った内容の発表を行った後、市長と意見交換を行っていただきます。

本日は、夢見ヶ崎動物公園の近隣の方9名と、地域で活動する団体として、さいわい加瀬山の会さん、幸高校放送委員会さん、ソーバル株式会社さん、日吉商店街連合会さん、日吉の「わっ」実行委員会さん、夢見ヶ崎プレーパークをつくる会さん、ゆめみんさん、GABUさんに参加をいただいております。

また本日、日吉商店街連合会から、地域のマスコットキャラクターであるどうかんクンも応援に駆けつけてきてくれています。

それでは、行政からの出席者をご紹介します。

福田紀彦川崎市長でございます。

市長：本日はどうぞよろしくお願いいたします。

司会：石渡伸幸、幸区長でございます。

区長：石渡です、よろしくお願いいたします。

司会：それでは始めに、福田市長から一言ご挨拶を申し上げます。市長、お願いします。

<市長挨拶>

市長：皆さんこんにちは。区民車座集会にご参加をいただきまして、まことにありがとうございます。

毎月1回、各区を回って区民車座集会をやっているんですけども、今回は、少しテーマを絞って、夢見ヶ崎の動物公園について、これまで深くかかわっていただいている方も、そして近くには住んでいるけれども、余りよく知らないなという方も、まじり合って、せっかくある動物公園なので、より魅力あるものにしていきたいし、そして何よりももっと多くの人たちに使ってもらいたい。そのためには何したらいいのかなということで、区役所も、あるいは動物公園を管理している建設緑政局という部局があるんですが、そこでもですね、皆、何となく、どうすればいいのかなって、もっとよくするためには、皆でどうしてやればいいのかということ、今日議論して、それを最終的に理解していければいいなというふうに思っていますので、ぜひ率直な意見交換ができればと思っています。

今日は、どうぞよろしくお願いいたします。

<ワークショップ> (略)

<意見交換>

司会：それでは、「第31回区民車座集会」の後半を開始いたします。

本日の車座集会は「夢見ヶ崎動物公園（加瀬山）の新たな魅力と賑わいの創出に向けて」をテーマに、地域で活動する団体や地域住民の皆様と市長が意見交換を行います。

なお、今回の車座集会では、前半として、参加者の皆様に三つのグループに分かれてワークショップを行っていただきました。

この後は、グループごとにワークショップで話し合っていたいただいた内容を発表していただき、その後、市長との意見交換を行っていただきます。

それでは、各グループからの発表に移りたいと思います。

まず始めに、Aグループを代表して、嶋田様から御発言をお願いしたいと思います。

なお、恐れ入りますがご発言をなさる方は、3分間を目安としていただければと思います。

それでは、よろしくお願いいたします。

嶋田さん：こんにちはイニシア新川崎の嶋田と申します。よろしくお願いいたします。

我々A班では、いい点と悪い点、いろいろあると思うんですけども、まず満足している点としては、夢見ヶ崎動物公園、自然がすごく豊富であるということとか、動物園があるから動物とのふれあいができて非常にいいですねという話がありました。

さらによくするというところでいきますと、現状の不満というところと改善点ですが、例えば、これ長所と短所ではあるんですけども、山であるという長所と短所があるねということで行きますと、まず長所としては、すごく起伏に富んでいて、坂とかがあってジョギングとかお散歩とかにすごくいい。ただ、これが裏面としては、シニアの方とかちょっとアクセスがしにくいというこの二つの裏表があるんじゃないかと。

長所を活かすということで行きますと、コースですね。この起伏に富んだ道というものを、コースにして、距離計を出したりしまして、すごく利用しやすい、ジョギングとかがしやすいコースにする。

なおかつ、これの発展形としましては、ミニトレイル大会とか開いてもいいんじゃないかと思いました。

一方で、裏面としてアクセスしにくいということに関しましては、やっぱり、シニアの方とかが少子高齢化のようなもので、シニアの方がアクセスしやすいようにエレベーターとかを設置したほうがいいんじゃないかという。

それから、非常に緑地がありまして、ピクニックとかジョギングとかの方が多いんですけども、訪れてから、飲食物とか売ってないので、そういったところで食べ物関係のお店とか、例えば野菜の直売所だとか、マルシェみたいなものがあつたほうがいいとか、それからカフェとか欲しいねなんて。

そして、我々のちょっとユニークなアイデアとしては、夢見ヶ崎動物公園は加瀬山なんですけど、まず、神社が三つもあつた。それから古墳がある。昔城が建てられるという計画があつたんです。この三つの要素というのは、今の言葉で言うところのパワースポットに当たるわけですね。霊験あらたかな土地であるということが認められてきたのが、加瀬山である。ということ、今に活かしまして、例えばパワースポットグッズをつくるとか、御朱印帳をつくるとか、そういうことをやって、パワースポットであるということを強調して集客に結びつけたらいいんじゃないかという話が出ました。

テーマとしては、夢がかなう夢見ヶ崎というところで、我々の発表とさせていただきたいと思います。

ありがとうございます。

司会：ありがとうございました。

それでは、次にBグループを代表して、伊早坂様から御発言をお願いいたします。

伊早坂さん：Bグループの伊早坂と申します。よろしくお願ひします。

9月に開催した、夢見る星空キャンプという、マルシェとキャンプのイベントの実行委員会をやらせていただきました。

私たちBグループですが、まず始めに話してみて、皆さん、やっぱり愛着と魅力を強く感じていて、そもそも動物公園に対して、余りネガティブなイメージをお持ちでなくて、よい思い出が皆さんあると、私も含めてなんですけれども、多分ここにいらっしゃる皆さん、動物公園で皆よい思い出がたくさんあるんじゃないかと思うんですけれども、まず、魅力を話し合ったところ、結構皆さん同じように偏りが出まして、景観がすばらしいということと、あとは無料の動物公園であるという、ほかにはない強みがありまして、動物公園の、さらにここに広場、遊具まであって、どの年代も楽しめるような環境が既に整っている。しかも、ここに、今日皆さんが歩いてみてもそうだったと思うんですけれども、ゴミが落ちていない。環境を整備されている、加瀬山の会さんのような、地域の方々が環境整備をしていて、花壇に周辺の小学校が花を植えたりとか、非常に整った環境が、近所の住民の手でつくられているという、これはすばらしい魅力だなということ、共通してお話ししました。

あとは、歴史。やっぱり、一つの歴史ではなくて、複数の歴史の話があの中にあるという、幾つもの歴史が重なっている山であるという、これはなかなかほかにはない、文化的、歴史的な背景がある場所である。もっとここはPRしていったらいいんじゃないかということになりました。

その一方で、課題として共通して上がってきたのは駐車場ですね。やっぱり、坂を上っていくのがなかなかきびしいということで、その課題の解決として、どうにかコミュニティバスだとか、バス停ができないかどうかという話がありました。もう1点、施設整備の老朽化が目立ちますということで、そこがどうにかならないかなと。それと、賑やかしの部分ですね。マルシェをやったりとか、あとはそういったイベントをしやすいように、公園内の設備を整えるテント、照明を貸し出して、そういったことを貸出すことで収入にしていって環境設備の整備に充てていったらどうかとか。あとは、幸高校の女子高生の方から出た意見なんですけど、景観がよいですし、木のトンネルなんかもあったりとか、フォトジェニックな場所がありますので、フォトスポットを作って、そこで、来園した方が撮影をして、自主的に配信をしていけば、広報にもつながるんじゃないかとか、そういった意見も出ました。

以上でございます。

司会：ありがとうございました。

それでは次にCグループを代表して青木様から御発言をお願いいたします。

青木さん：こんにちは、イニシア新川崎の青木です。これからグループCの発表をいたします。

私たちのグループ、他の方のところは9名ですけど、私たち10名いますのですごく意見がいっぱい出ました。いっぱい出ましたけれども、先ほどのAやBの方と同じような意見がたくさんあります。。見ていただくと分かるように、私たちのグループも、意見を分けると、10個ぐらいあります。ピンクの紙の多いところはやはりですね、広場とか動物園あと自然とかがありました。

どのように改善していったらいいのかなという、やはり今日、見ても分かったとおり、自販機はありますけど、お店が開いてないので、やはり売店というか、コンビニをつくるとか、何かその辺を実現していただけたらもう少しいいのかなと思いました。

あと、ほかのグループでもありましたように、アクセスが悪いので、その辺を少し充実していただければなと思います。

あと、広場で自然の遊びのステージができるようにとかスペースをつくるとかあったんですけども、具

体的にじゃあどのようなのをつくっていいのかというのが分かりませんので、今後は市役所の方に、いろいろ考えていただいて、そのような充実した設備をつくっていただければと思います。

私たちのグループは以上で終わります。

司会：ありがとうございました。

それでは、市長からよろしく願いいたします。

市長：皆さんどうもありがとうございました。

区民車座集会、いろんな形で今やっているんですけども、今日はすごい盛り上がりですね。というのは、ワークショップ形式でやったのって今までありましたかね、ちょっと最近では余り記憶がないんですけども、ワークショップで何よりも財産だなというふうに聞いていて思ったのは、それぞれが夢見ヶ崎動物公園に、先ほど言ったとおりすぐ近くに住んでいる、あるいは深くかかわっている人たちというふうなのは、自分たちは何をやっているかという、そんなのは知っていたけれども、隣の団体がどんなことやってたのかなとか、あるいは、地域の中で、こんなにもいろんな人たちがこの夢見ヶ崎公園周辺で活動していたんだということを、改めて知ったということなんですね。お互いに知ったということで、ものすごい財産なんじゃないかなというふうに思いました。

A、B、C班本当にありがとうございました。

この間、30分間くらいずっと聞いていてですね非常にいいと言われるなど。職員もずっと聞かせていただきましたけれども、これは気づけなかったなとか、あるいはこれはいいアイデアだなという、園長もいますから、後でちょっと、園長からもコメントももらいたいと思いますけれども、たくさんありました。やっぱり、いいところというのは、A、B、C班、似てましたよね、傾向としては。やっぱり、いいところは無料で、そして自然豊かで、景色もいいし、歴史もあるということで、大体似たようなところで皆さんいいと書いていただいていた。

だけど、課題として、やっぱり知っている人は知っているけど、知らない人は知らないよねっていうことの発信力の問題というのはどのグループでもあったかなというふうに思います。

それから、施設整備ってありましたね。老朽化とか。意外にうれしかったのは、トイレはきれいだよという方と、いやまだ改善の余地ありかなというふうな、両方の意見が出ましたけれども、きれいなんだけど、まだまだもうちょっとレベルを上げてというところなんだと思います。そうしたことだとか、あるいは長所としては、先ほど挙げたとおりなんだけれども、短所としては、景色がいい分、山の中というか高低差があるので、ややそこのアクセスには難があるのかなというところがあったというふうな。A、B、Cをざっくりまとめるとこういう形になるのかなと思いました。

黄色のいいねという中で、幾つかいいなと思うのがありましたね。特に、夢がかなう。このキャッチはものすごくキャッチーですね。夢見ヶ崎、夢がかなうスポット。パワースポットというふうなお話もありましたし、先ほど、どのグループだったかな、神社もある、古墳もある、お城もできそうだったということだからパワースポットだと。なるほど。御朱印帳の話もありましたし、学生さんからは、お守りに動物のグッズをというふうな意見を出してくれているけれども、動物入りのお守りなんか売ったらどうかというふうな話だったですね。ちょっと僕ではとても思いつかないようなアイデアですね。いろんなところから出てきたいというのが、やっぱりこういうふうな、ワークショップすると自分では考えつかないようなアイデアが出てくるものだなというふうに思いました。

さて、これからどういうふうに進めていこうかなと思いますけれども、一つはハード系のところで、今まで出てきたので、いいものたくさんありました。ちょっとなかなか実現のハードル高いなというものから、これすぐにでもできるんじゃないのというふうなの、これをもう少し、これから私たちの職員の中でも

いただいた意見というのを、必要だけどなかなか道のりが困難で、実現にはまだ遠いかなということと、もうちょっと頑張ったらいけそうなこと、今すぐできることというのを幾つかにカテゴリーして、できるところから取り組んでいく。

ちょっと困難だろうというふうに思っていたとしても、いやいやこういう地域の方ともう少し一緒にやればできるんじゃないかとか、あるいは民間企業の方でも、こういう御協力をいただければもう少し実現に近づくんじゃないかということ、模索していくことというのもできますし、そういう仕分けをこの中からしていきたいなというふうに思っています。

先ほど、すばらしいコメントいただきました。こんなにゴミが落ちていないきれいだ、というのが、実は加瀬山の会さんの皆さんなどが、毎日こうやって地域で活動してくださっているんだということを知ったということというのは、ものすごくすばらしいことです。ぜひ、こういった加瀬山の会の皆様の活動も、もっともっと知っていただいて、あるいは今まで、どこかのグループで聴きましたけれども、8年ぐらいい住まいけど、動物公園にはまだ数回しか行ったことないなという方いらっしゃいました。ぜひ、足を運んでいただき、一緒にごみ拾いとか、交流を広めてもらいたいです。そういう活動にも参加していただける、そんなことで来ていただければ、大変ありがたいなというふうに思いました。

それから、とてもおもしろかったのが、最近、インスタですね、SNSで、インスタ映えするスポットがたくさんあって、もっともっとやればおもしろいのあるんじゃないのというふうなこと、こういったアイデアを、じゃあ商店街の皆様と一緒に取り組んでいこうとか、あるいはどうかんクンをもうちょっと活用していこうとかという、そういう何か、今まであるものというふうなのをどういうふうにもうまく繋げるかということですね。また、新たな価値を生むことができるのではないかなというふうに思いました。

今日は、それぞれ活動していただいている方たち、この公園のところで、既にプレーパークの活動していただいたり、あるいは、ホームページをつくっていただいたりとか、あるいは自称公認アイドルで活動していただいたりとか、そういうふうにかかわってくださっている人たちが、もっともっと横のつながりというか、できればもっとおもしろいこと、魅力がどんどんできるんじゃないかなと思います。

それから、今日は三つの大きなマンションの方々、3名ずつ参加していただいていますけれども、非常に近くにありながら、なかなかうまく活用できてなかったというふうなのは、これ、さっきどこかで聞きましたけど、川崎市はこれで活性化したことで、魅力をつくった後で何をしたいんだと、お金を儲けたいのかどうなんだというふうなお話をちょっと小耳に挟んだんですけど、いやいやお金を儲けることではなくて、これは川崎市の所有の動物公園であり公園ですけれども、川崎市が所有していることというのは、すなわち川崎市民の共有の財産なんですね。川崎市民の共有の財産であるから、もっともっと活用しよう。今日は天気がよかったから人多かったね。だけど、ちょっと寒かったり、あるいは暑い日というのはどうなんだろう。さっき、雨宿りするところが少し足りないなという意見もありました。ベンチはあるんだけど、雨宿りができない。もしかしたら、雨宿りだけじゃなくて、日陰がないとか、木がありますからあれですけどもね。そういう話もあったので、せつかくの公園。皆の共有の財産なので、もっともっと24時間365日、せつかくあるこのスペースを、もっとうまく活用するために何ができるかなということで、今日の議論をさせていただきました。

今回このA、B、Cの中で、自分のところでは出なかったけれども、ここはよかったねと、ほかのグループでここはよかったよというふうなことがありましたら、ちょっとマイクを向けさせてもらいたいと思いますし、あるいは私への質問でも結構ですが、何でもいいので、御発言をいただきたいと思います。

出口さん：Aグループから出ましたけど、パワースポットというか、歴史あるという、これからもっと掘り起こしていいかなと思います。動物園だけということではなくて、もっと地域遺産があるんだよというのは、区でもやっていると思いますが、もっともっと、いろんな方たちが発信してもいいのかなと思いました。

市長：ありがとうございます。

ちなみに、道灌の話を知らなかったという方は、ちょっと手を挙げていただきたい。

太田道灌の方ですね。太田道灌が、ここに江戸城がもしかしたらできていたかもしれないというような話。この逸話について知らない、あるいは知らなかったという方はどれぐらいいますか。

全員知ってた。素晴らしいですね。幸区民みんな知ってるのかなあ。区長どうなんですかね。

幸区長：日吉地区の方は知っていると思います。

市長：日吉地区の方は知っている。日吉地区の方は知っていますか。もうちょっと拡大しましょうよ。せつかくの歴史的な大切なあれですものね。もうちょっと何人かに聞いていきたいと思います。

じゃあ、島谷さん。

島谷さん：アプリケーションをつくるということで、うちはITの会社なので、IT側がというと、考えているんですけども、そういうところをもうちょっと活用するアイデアをもうちょっと出したいなと思います。そういうときにやはり、最近セキュリティとか著作権とかいろいろ問題が出たときに、保守的になりがちなところがあるので、そんなところに・・・。

市長：こういうアプリケーションをつくっていくときに、こういう意見って一番大事なところですよ。何が本当に一番大事だろう、自分はこういうのが必要だなと思っていたけれども、実はそこは余り求められていなかったりとか。むしろ、こういうことが求められているんだというふうなことが分かると、ここで見ると、大体30人ぐらい参加されていますけど、大体同じグループ、違うグループなんだけれども、いいところも悪いところも共通しているなということを考えると、ここから土台にして、もっとまた別のアプリケーションができる可能性というのがありますよね。

島谷さん：おっしゃるとおりで、パワースポットだとか、やはり皆さんが大事にされているということもあるので、そういったところにもうちょっと何か当たるともっといいものがつくれるのかな。今日はこういったアイデアを出させていただきました。

市長：ありがとうございます。

これ、川崎市全区の、川崎市全般に言えることなんですけれども、もっと広報をうまく情報発信してくださいねというお声は川崎市の仕事でたくさんいただきます。実は、川崎のイベントアプリというのを今年4月につくりました。自分の住んでいるところを登録しておく、例えば幸区のイベントと隣の中原区のイベントだけ知りたいというふうに携帯のアプリで登録しておく、それ見合った今週末、来月の予定というふうなのが見れるというアプリをつくったんですが、まだまだこれ、活用されている方少ないので、もっともっと、これ自体も発信していかなくちゃいけないなと思います。こういうことをすることによって、今活動していただいている団体の皆様が、もっと気軽に、私たちこんな活動やっていますよ、でも、紙ベースだとなかなか配れる範囲も制限されます。そんなことも、もっと頑張っていきたいなと思っています。

じゃあ、こちらのグループ参りしましょうか。それでは、アイドルからどうでしょうか。

市橋さん：私は自称夢見ヶ崎動物公園専属アイドルをしております市橋と申します。

私はこの活動の別に、幸区にある幼稚園で今仕事をしているんですが、年に一度夢見ヶ崎動物園に遠足に

行かせていただいて、広場にあるトイレなんですけど、すごい昔は汚いといいますか、何年か前に子供が使いやすいになったと思うんですけども、それからは遠足のトイレがすごく行きやすくなって、そういうところですごくよかったと思ってんですけど、きっとそのときもこういういろんな話し合いの上で変わったのかなと思うので、今日の話し合いでも、もっと多くの人がいろいろ活用できるように変わっていったらいいなと思いました。

司会：ありがとうございます。

今日は、加瀬山の会の皆さんも結構傍聴に来てくださってますけれども、こういう成川さんのような、もう平成15年からですよ。15年からずっと継続して活動されている。きれいに管理をさせていただいているという、もう日々活動されているので、ちょっと皆さん、随分この活動をこの機会に知ったと思うんですけども、もっと巻き込みたいという思いをですね・・・。

成川さん：そうですね。自分はまずきれいにすることを目標にしてやっておるんですね。会員が、常時月3回来る作業の中で、もう15人ぐらいずつ出てくる。それで、班に分かれて下草刈りだの、花壇だのというような作業をしています。私の希望としては、夢はまず、加瀬山をよくするには木の間伐。枝が大きく、木が大きくなり過ぎているから、あれを剪定すればもっと明るくなる。明るくなればもっと人がくると思います。その辺の、我々にはできないようなことだと、1年待っているとまた同じように……。

市長：ちょっとこの辺からもそういうお話になっているような。

もう少し間伐して明るくなると人がもっと集うと。

成川さん：やっぱり、里山としては、上から下が見える、下から上が見えるというような姿にすれば、散歩をするにも気持ちがいいし、その辺を一つでも頑張っていたきたいなど。

市長：ボランティアではできないような大きな、いわゆる間伐のところですね。

そこはしっかりと行政がやるべきと、そういうことですね。

成川さん：だから、私の夢としてはもう一つ。アクセスが上がるのは便利ですよ。日吉出張所の駐車場からエレベーターをつけて。1億ぐらいでできるんじゃない。その辺を頑張っていたきたいなこと。非常に夢なんです。

市長：それは、さっき申し上げたように、なるほどと思ったけれど、現実的にはかなり遠い部類の話だなというカテゴリーだったんですが。山坂がきついというところをどういうふうに捉えるかというのを、山坂があるからおもしろい。少し健康づくりにも歩くのっていいよねと。だけど本当にきつくなってくると手すりも欲しいよねというふうな形で、少しだから、そのバランスというのが常に難しいんですけども、ぜひ短所を長所にするというふうな工夫というのが、もう少し頑張らないとなというふうに思います。

間伐の話、こちらでも出てましたけれども、専門家が。専門家、誰かおられますよね。どんなものですかね。僕も全然専門じゃないので、よく街路樹の話は、えらいこれもめるんですよ。切ってくれ、残してくれて。それが市長への手紙でもめちゃくちゃ多いんです。苦情が来ると切るから、切るとする。そうしたら、何で切ったんだというふうな話になって、僕もいつものこぎりもってどこでいいですかって、皆で投票で決めたいぐらいに、樹木の剪定問題はものすごく難しいですね。ですからこれ、先ほどこちらのほうでも、自然は残すべきだよというふうな話と、でももう少し見晴らしよくしたらというふうなお話もあって、なか

なかこの合意形成というのが難しいんだけど、しかし今おっしゃったように、程度の問題で、この辺ぐらまでは切って、自然を残しながら光を入れたほうが公園としてはふさわしいのではないかなという御意見ですね。なるほど。

ちょっとこのあたりというのは専門的な話にも含まれるので、しっかりと持ち帰らせていただきたいと思っています。

ここで切りますとかというふうな話になると後で大変なことになってしまいますので。どのあたりが本当に適正なのかなということを、もちろん住民の皆さんとも相談しますが、専門家の意見などもまじえて検討したいなと思っています。

こちらのグループ、庄司さんのお話聞いてみましょうか。

御意見でも質問でも結構ですから。あるいは、活動報告も少し自分たちの話でも結構です。

庄司さん：私たちは、この地域の宝物、自然だとか、歴史だとか、それから人のこういった存在。一生懸命やっていたら活動があることがすごく大事だなと思って、そういったネットワークをつくりたいと思って、日吉の「わっ」というネットワークで、もう10年活動しています。

いろんなイベントをやったり、皆さんの交流の場をつくって、でもやっぱり知らなかったというのが隣の方とも話してあったので、やっぱりPR、つながるといふのを、何か幸区の方でいろいろ工夫していただいてやっていただけるといいかなというふうに思います。

ちょっと今思い出したんですが、以前、山の上で、能をやったことがあったんですね。それとか、夜にコンサートをやったことがあって、すごく印象的で素敵な思い出になっていますので、時々、毎年は難しいけれどもそういうイベントが広く、夢見ヶ崎にあるんだということを皆さんにPRできるんじゃないかなと思います。そんなつながりの場をもっと作って欲しいなと思います。

市長：ありがとうございます。

大事なことは、私もいろんなイベントがあるとか、行政でもやるんですけど、一つのイベントだけ、一つの団体でやるとなかなか集客力って広報にも限界があるので、皆相乗りしようということをやったほうがいいなと、今まさに庄司さんのほうでもおっしゃったのはそういうことですね。こういう場があって、じゃあここここが連携してやればもっとPRもできるし、活動、楽しいことがもっとふえていくねと。この週末はこんなにおもしろいことがいろんなところでエリアでできますよねと。商店街なんかも交えておもしろいことできるよねということですよ。ありがとうございます。

ぜひ、こういった、区ごとにものすごく、地域資源が違うので、その地域資源で違うものを各区がどうやって生かしていくかと。どういうつながりの、いろんな多様な主体とコーディネートしていくかというふうなのが、一つは区役所の役割でもありますし、まさに庄司さんのような方々が、いろんなところを団体をまとめてくださっていると、このネットワークをうまく連携を、これからもさせていきたいなというふうに思います。ありがとうございます。

こちらのテーブル行きましょう。三輪さん、先ほど映像見させてもらいました。ありがとうございました。すごく分かりやすい、大田道灌のお城ができるかもしれなかったという、歴史的なストーリーを8分間くらいの映像で見させていただきました。とてもすばらしくできていたので。聞いたところによると、ずっとこの近くにお住まいだっけ聞いたんですけど。ちょっとコメントいただいてもいいですか。

三輪さん：夢見ヶ崎小学校が出身で、加瀬山の歴史に、夢見ヶ崎については、小学校の頃から聞いていたんですけど、それとか、あとは動物公園のことも活かすためにたくさんの活動をやっているというのは、すごいことだなと思って、でも、それに対する、確かに広報活動に発展していくということがたりないというのは大きな課題だと思うので、たくさん、今日の団体の方がいらしてくださっているから、皆で相乗りし、

力を合わせていけばもっとよりよくしていけると思います。

市長：何か、こういう地域の人たちと一緒に活動してみたいなという気になってきますか。

三輪さん：そうですね。

市長：今まで、映像見たら、取材にも行っているし、地域の中に入ってきてくれているなというふうなイメージがすごくあったんだけど、しかし、こんなに多くの人たちが、活動しているのって実はあんまり知らなかった、三輪さんは知っていましたか。

三輪さん：中学校のときも、お祭りのボランティアとか、そういうことはあったんですけど、やっぱり知らない団体さんとかもありました。

市長：三輪さんたち放送委員のみならず、幸高校の高校生の皆さんを、じゃんじゃん地域のイベントに、そういうことを広報していただいていって、参加していただければありがたいなというふうに思います。よろしくお願いします。

市長：先ほど、発表していただきましたけど、伊早坂さん、夜のイベントで、キャンプをしていただいたりとかいう、先ほどの庄司さんの話であったのは、昔は能なんかやったりとかという、そういうことが非常に思い出に残ったというような話ですけど、この前9月にイベントやっていただいた。

伊早坂さん：昼間は、出店とワークショップで、夜は動物公園の前に泊まるというキャンプのイベントを地域の若者を中心に団体を設立して開催しました。

今、能があつた場所で行われたとか、夜コンサートがあつたというのは、準備の段階からいろいろな方からお話は聞いていたんですけど、その話は初耳でした。私たちも、一生の思い出になるような、そこへ泊まるという特別な体験を、本当に非日常の世界を体験するべく準備をしたんですけども、おっしゃっていたようにずっと記憶に残っていく、事あるごとに思い出して、それがイコール夢見ヶ崎動物公園の魅力とか愛着に繋がっていくと思うんですね。なので、イベントをやるに当たって、とことんこだわって、場所のポテンシャルを引き出して、先々ずっと思い出して、そういえば動物公園であんなことがあつたなとか、また行ってみようかなって思えるような、私、イベント屋さんなので、そういったイベントをつくらなきゃなっていう気持ちになりました。

市長：ありがとうございます。

今、夜、週末でイベントやって、何ていうイベントの名前だったんでしょうか。

伊早坂さん：イベント名は、夢見る星空キャンプです。

市長：夢見る星空キャンプ。嶋田さん、これ御存じでしたか。どうでしたか。

嶋田さん：はい。町内会長会議で。

市長：その町内会長会議で、そのイベントのことは知っていたと。

伊早坂さん：挨拶に伺いました。

嶋田さん：説明いただきました。

市長：なるほど、素晴らしいですね。自治会・町内会を大切にしているところは絶対、成功のカギのひとつだと思いますよ。

皆さん、御存じでしたか。キャンプ。

でも、ほとんど、知ってた人。結構知名度があるイベントだったんですね。こういうイベント、いろんなグループと連携して、次々とおもしろいことをつくり出していただけると非常にありがたいなというふうに思います。

間宮さん何か御意見ございませんか。質問でも結構ですよ。

間宮さん：私、間宮と申します。先ほど、市長が言われました、三つの大きなマンションの一つからきています。先ほど木の話がありました。けやきが大変伸びすぎているというのが一つあると思いますけど、けやきは上のほうに葉っぱがたくさんつきますので、夏はこれが日差しを遮って、夢見ヶ崎が楽しく遊覧できる。冬になると葉っぱを落として日がとおって下が暖かくなるという、そういう意味で、けやきっていいと思います。余りにも高すぎるので、やっぱり何本か抜く必要があるのかなと思います。私はちょっと造園のほうをやっています。大したことはないんですけど、そういうふうに感じました。相当伐採、かなり、山の斜面もそうですけど、抜くことによって、雑木林、国立とか向こうのほうできれいな雑木林にだんだん変化していくと、里山になっていくということかなと思いました。いい施設だなと私は思いました。

市長：ありがとうございます。

間宮さん：それからもう一つだけ、私は個人的に市長にどうだというつもりはないんですけども、余りここが活性化して賑やかになるのは、個人的にはですね、私はやっぱりお休みの日にここに来たときに、とても静かで、この自然がやっぱりいいんですね。賑やかになってエスカレーターついた、何がなんだみたいな、ここは一体何なんだみたいな。だから多分地域の方も、この静かさというのがとても捨てがたいよさなんじゃないかなと思う。静かだから、皆これからも来なさいよというのはよくわかるなど。両側面あるなど思っ、この自然を大事にしつつ、いいところあるぞといたいなど思っております。

市長：そちらのグループも、結構、落ちついた公園でいいという意見が結構シールはられてましたね。落ちついて静かなところがいいんだという御意見でしたけれども、知っている人はちょっと隠れ家レストランは誰にも教えたくないなもの。でも、確かに落ちついて公園の中でゆったりとして過ごす時間というのはとてもかえがたい価値の一つだというふうに思いますが、それから、常に賑わってわいわいやっていただければいいということではないと、それは僕も思いますね。

しかし、こういったところに、造園の専門家がいらっしゃったというのは、これもまた地域の資源の一つですよ。こういう方がいらっしゃるといのは、非常にありがたい、いろんな形で地域の中でいろんなアドバイスをこれからもしていただきたいなと思います。

ありがとうございます。

さて、残りの時間少なくなっているんですけども、今日はちょっと言っておきたいなというようなお話はございますでしょうか。

杉野さん：新川崎で降りますね。こちら見ると、夏の話ですけど、暑いんですけど、こっち見ると温度が違うんです。山があるため。そういう発見もあります。

市長：なるほど。ありがとうございました。

自然があるから少しまた違うということですね。深瀬会長どうですか。

深瀬さん：今日は本当にありがとうございました。

今、日吉地区全体を見たときに、新川崎がすごく、タワーマンションが建って人口もふえて、街が非常に明るい街づくりとして、夢見ヶ崎動物公園があるという受け止め方をしています。そこで、夢見ヶ崎動物公園という、それから、やはり皆さんが、少子高齢化社会においても家族2代、3代、家族がそろって、来られるような整備をしていただくということが、これからの長期にわたってのビジョンじゃないかなと。そういう考え方なんです。

それともう一つお願いなんです、市長さんに。この新川崎は、今、新しい産業都市です。そこで、今、団体だけで動物園を運営するということについては、やはり壁があるかと思います。運営自体に。

そこで、企業の方々にも、ぜひ協力していただけるようなまちづくりをやっていただくと非常にありがたいですということです。

市長：ありがとうございます。

企業の皆さんの話というのは、非常にいいお話で、ちょうど園長が頑張っていますので、園長から少し、そのPR、夢サポの話もしてもらえれば。

園長：動物公園の園長の岩瀬と申します。

市長のほうから、企業とのかかわりをお話してくださいということで、皆さん方、新聞等でも御存じかと思いますがこの今年度から、サポーター制度というようなことで、一般の市民の方、あるいは企業や団体の方等から動物公園を支援していただくというような取り組みを始めておまして、それなりの御寄附やなんかも今いただいて、大変ありがたいんですけど、150万円近い寄附があり、個人の方、市民の方でも10万円くらいの寄附の申出をされた方もいらっしゃいました。そういうようなことをやりつつ、つい最近では川崎鶴見臨港バスさんがちょうど会社の創立80周年ということで、80周年にちなんで80万円の御寄附とあと、ここの周辺に臨港バスさんが何系統かのバスを走らせてくれています、動物公園応援バスと名づけまして、バスの側面にはしましま、ペンギン、猿のシルエット、それから車内には約50体ぐらいのぬいぐるみが車内を飾り、併せて動物の写真を掲載させてもらって、少しでも動物公園にお客さんに来てもらえるようにという形で臨港バスさんが今、2年間くらいそうしたバスを走らせていただいています。

そんなような取り組みも少しずつですけど、出てきておりますので、そういったことを継続して皆さん方が来やすいような、楽しんでもらえるような動物公園をつくっていただけたいな、なんて思います。

市長：ありがとうございました。

今申し上げた、先日は、臨港バスさんから応援バスというふうなのを出していただいてという、これを続けると。バスの中は本当に入ったらびっくりするんですけど、夢見ヶ崎動物公園にいる動物のぬいぐるみが車内にいっぱいあるんですね。そうすると、こういうものが見れるのかという、バスに乗るだけで何かワクワクしてくるような、そういうバスの運行を臨港バスさんに御協力いただいています。周辺の企業の皆さんも、非常にグローバル企業の皆さんですけども、やっぱり地域のために何かできないかという形で夢見の

魅力アップに割とかかわってこうという姿勢を見せてくださっているの、先ほど申し上げたように、この地域の皆さんと区役所と、また、地元の企業の皆さんというふうな、そういう連携というのはとても大事だなと。この受け皿づくりというのはぼくたちしっかりやっていきたいなというふうに思います。

ありがとうございます。

市長：ほかに何かございますか。

大塚さん：さっきメンバーが話しましたけれど自称夢見ヶ崎動物公園専属アイドルのGABUと申します。とはいえ、自称で専属アイドルを名乗ることがおこがましかったなと今日は思ってしまいまして、皆さん本当に、これだけ夢見ヶ崎動物公園を、加瀬山のことを本当に愛していらっしゃる皆さん、こんなにいろんな活動をされている皆さんがいるということに感激しましたし、私自身も日吉小学校の出身ですので、小さい頃から夢見ヶ崎動物公園をつうじて一市民として夢見ヶ崎動物公園を盛り上げたいなと。その方法として、こういう自称のアイドル活動というのをさせていただいて、今日、これだけお集まりの市民活動団体の皆さん、表に出ることよりも裏で何か仕事されることのほうが得意な方もきっといると思うので、私とかメンバーはかえって、いろいろ考えることよりもやってみようということのほうが得意だったので、本当に今日この場でこういったつながりをぜひ今後生かして、微力ながら活動を通して夢見ヶ崎動物公園のこと、もっと広くアピールたいなと、広くアピールし過ぎると盛り上がりすぎちゃって……。本当に市民の皆さんの憩いの場がもっとよりよくなるようにしていただきたいなと改めて今日は思いました。貴重なお時間をいただいたことに本当に感謝いたします。ありがとうございます。

市長：ありがとうございます。

すばらしいコメントいただきました。ありがとうございます。ぜひ、せっかくこうやって集まったんですから、この会に限らずオフ会じゃないですけども、ぜひ夢見ヶ崎を愛する方々として、またこういう横のつながりというのは何かにつながる可能性もあるので、ぜひ誰かボランティアで、じゃあまとめるわという人がいれば、ぜひ区役所もお手伝いさせていただきたいとしますので、せっかくいただいた意見をこのまま何もしないということでは何のために集まったのかということに御意見いただいたということになりますので、先ほど申し上げたとおり、この意見を参考にしながら、そうだねと、これは早くできるんだねいうふうなことからまずやると。課題を整理して、できることからしっかりやっていくということだというふうに思いますので。

今日は、非常に皆さんから私もたくさんのことを教えていただきましたし、刺激もいただいたし、そして何よりも、こんなに活動してくださっている、思いを持って活動してくださっている方たちがこんなにいるのかということにすごく感動しまして、この場をもう少し大きくして、もっとすばらしい夢見ヶ崎動物公園に、そして地域にしていきたいなというふうに思っています。

今日は本当にご参加いただきまして、心から感謝を申し上げます。

たくさんいただいた意見を少しでも今後の市政運営の参考にさせていただきたいとします。本当にありがとうございました。

司会：ありがとうございます。

それでは、以上をもちまして第31回区民車座集会を終了いたします。

本日は御来場いただきましてまことにありがとうございました。お帰り際には、お忘れございませんように御注意ください。また、受付の際に配布させていただきましたアンケートへの記入についてご協力をお願いいたします。なお、アンケートはお帰りの際に出口にいる職員にお渡しください。

本日はまことにありがとうございました。